

東京外語会の皆様へ

2015年言語文化学部スペイン語科に入学した西堀響の父親です。

今般、東京外語会のメールマガジンをお借りし、私の息子のことで御願いたいことがあります。

すでにご存じの方もおられるかとは思いますが、2016年1月15日長野県軽井沢で発生したスキーバス事故で響が犠牲になりました。事故当時、私は単身先の大阪から一縷の望みをもって軽井沢に駆け付けましたが、願いも空しく帰らぬ人となりました。

当時1年生の19歳、外交官をめざしスペイン語や外交を勉強し、Phantomsでアメリカンフットボールに打ち込み、これからの楽しい大学生活、将来を夢見ていました。希望に満ちていた大学生活を全うさせてあげられなかったこと、将来を未来を奪われたことを思うと残念で悔しくてなりません。

現在は同じ事故に遭った大学生の遺族の皆さんと手を取り合い、事故の原因解明、責任追及、国の制度の見直しなどに取り組んでいるところです。

そのような中、今般警察の捜査が終了し、バス会社の幹部並びに元幹部が事故の容疑者として長野地方検察庁に送致されました。事故を起こした当事者は亡くなったドライバーではありますが、今回の事故は、大型バスに不慣れな運転手を研修もせずには運転させたこと、決められたルートを会社の許可も取らずに変更したことなど事故に繋がるなど法令違反を100以上犯していたバス会社の管理者の責任は極めて重たいと考えています。

私としては送致されたことは当然であり、起訴され厳罰を受けるべきと考えています。

ただ、司法の壁は厚く、いままで管理者が起訴されたケースは非常に少ないと聞いています。そのためにも私たち遺族は「バス会社の幹部並びに元幹部を起訴の上、厳罰に処する」ことを求める署名活動をするにしました。

私の無念並びに息子の無念、またバス会社に警鐘を与えこのような事故が再び起こらないようにしたいという趣旨に賛同いただける方は、署名にご協力頂ければ幸甚です。

なにとぞ、ご協力のほど宜しく御願ひ致します。

平成29年7月
西堀 響 (父)